

自治研修あきた No.79

発行 令和2年7月
発行者 秋田県自治研修所
TEL 018(873)7100

「コロナ禍と研修」

秋田県自治研修所長 本田 邦子

自治研修所の令和2年度は、まさにコロナ禍真っ只中でのスタートとなりました。

全国的な感染の拡大により、4月には本県でも緊急事態措置が講じられ、徐々に緩和されたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防する「新しい生活様式」での行動が今でも求められています。

ややもすると、この非常事態の中では研修事業そのものの必要性が問われるのではないかという不安はありましたが、自治研修所での研修は職員の人材育成において重要な役割を果たしていること、また受講時期にあっては、それぞれ新たな役職段階や特定の年齢に達したときに必要な能力の開発のために受講するものであることから、その時期を逸することは個人の不利益に繋がると考え、コロナ禍においても可能な方式での研修を実施することが重要と考えました。

コロナ禍により、研修を行う上でのリスクの一つに「感染」が追加され、このリスクは継続していくものと考えられます。研修の実施においては、こうしたリスクに対しての対応が求められていくことになります。

また、それぞれの特性がある研修形式から、研修の内容や目的に応じ、どれが最適なのかを選択し、受講者にとって有益に資するものになるよう計画しなければなりません。

これまで主に行ってきた集合研修は、多数が一堂に会し行われていたため、今後は従来通りでの実施は難しくなりますが、研修内容として実際に新たな考え方の疑似体験や他の参加者との意見交換などを経験により学ぶことができるという利点があります。その意味でもソーシャルディスタンスなどに配慮しながらの実施を継続していくことが大切だと思います。

コロナ禍により注目された研修講師と受講者が別々の場所にいながら行なわれるオンライン研修や、webを利用し個々に学習するeラーニング研修を導入することにより、密というリスクは避けることができます。オンラインによる研修には、これまであまり目が向けられていませんでしたが、育児などで集合研修の参加に制約があった職員が参加しやすくなるなどの利点があり、今後の研修形式としては大変有効であると考えられます。設備やセキュリティ、受講体制など検討すべき点は多いものの、早期の導入に繋げていきたいと考えています。

コロナ禍の「禍」は、わざわざという意味ですが、「禍も三年置けば用に立つ」～禍も時がたてば幸いの糸口になることがある～ということわざがあります。幸いとは言いがたいですが、ここでは改めて研修の現状を見返すきっかけになったと前向きに考えていきたいものです。

令和2年度に自治研修所で実施する研修

役職段階別指定研修(8科目)

新規採用職員研修【合同】
3年目職員研修【合同】
キャリア開発研修
主査級職員研修
管理監督職員研修
課長級職員研修<リ>
人事評価者研修
現業職員研修

組織力向上研修(2科目)

キャリアデザイン研修
メンタルヘルス(ラインケア)研修

市町村職員研修(6科目)

新規採用職員研修【合同】
3年目職員研修【合同】
主任級研修
監督者級Ⅰ研修
監督者級Ⅱ研修
市町村人事評価者研修

能力開発研修(eラーニング・全40コース)

マネジメントの基本コース
上級管理者コース
チームマネジメント基本コース
ケースで学ぶ組織・人材マネジメントコース<2020-2021年版>
ケースで学ぶ経営戦略コース<2017-2018年版>
ケースで学ぶ戦略マーケティングコース<2017-2018年版>
メンバーのための目標管理基本コース
目標によるマネジメント基本コース
最新事例に学ぶ企業倫理・コンプライアンス実践コース<2019-2020年版>
内部統制基本コース
多様な働き方を考えるダイバーシティ実践コース
リスクマネジメントコース
職場ハラスメント対応コース
マネジャーのための職場のメンタルヘルスクア基本コース
自分のためのメンタルヘルスクア基本コース
事例で学ぶすぐに使える声かけ編
事例で学ぶ上手な聴き方編
ソリューション提案コース[顧客分析編]
クレーム対応基本コース
クレーム対応実践コース
仕事の基本シリーズ「文書作成編」
仕事の基本シリーズ「時間管理編」
仕事の基本シリーズ「PDCA編」
事務ミスゼロのための仕事の小ワザ20のスキル
定時に帰る!15の仕事術
ケースで学ぶビジネス計数コース<2020-2021年版>
決算書が読めるコース
メンタリング入門コース
<新訂版>ビジネス・コーチング基本コース
ロジカル・シンキング基本コース
論理的思考力ステップアップコース
問題解決の基本コース
リーダー・マネジャーのための課題解決基本コース
コンフリクト・マネジメント入門コース
「伝える力」スキルアップコース
「自己アピールする力」スキルアップコース
自分らしさを活かした対人能力向上コース
ファシリテーション基本コース
実践!「やる気」アップ15のスイッチ
レジリエンスの鍛え方基本コース



(備考)

- 1 「能力開発研修」は、選択研修(必修)・応募研修
- 2 <リ>とは、研修内容をリニューアルした科目

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための対応として「令和2年度研修概要」に記載した内容を一部変更し、集合研修で実施予定としていたすべての能力開発研修をeラーニングへと置き換えています。

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策について

自治研修所で新型コロナウイルス感染症の感染予防のため実施している対策と、受講者のみなさんをお願いしたいことをご紹介します。

自治研修所で実施している対策

- ①研修講師・担当者の体調管理、マスクの着用、手洗い、咳エチケットの実践
- ②所内の要所への消毒液の配置、ドアノブ等の定期的な消毒
- ③研修会場の定期的な換気の実施
- ④座席の前後左右一定の間隔の確保、演習（ディスカッションなど）の一部簡略化
- ⑤研修実施前後の机の消毒



受講者のみなさんをお願いしたいこと

- ①マスクの持参・着用、咳エチケットの実践
- ②研修開始前14日以内に海外から帰国した場合、または海外から帰国した人と接触した場合、事前の研修担当者への連絡
- ③研修当日の朝の検温・咳や発熱など風邪症状がある場合の研修の欠席
- ④換気による室温の変化に対応するため、必要に応じて衣類等での調整ができるような準備
- ⑤研修所に入入りする際の手の消毒および休憩時間等の手洗い・手の消毒の励行
- ⑥受講中体調の変化を感じた場合の研修担当者への速やかな申し出
- ⑦食堂利用時・休憩時間等の人との十分な距離の確保、密集場所をつくらない行動



一人一人の行動・心がけが新型コロナウイルス感染症の感染予防・感染拡大の防止につながります！

令和2年度新規採用職員のみなさんへ

今年度、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、4～5月にかけて実施予定としていた新規採用職員研修が中止となりましたが、9～10月に改めて新規採用職員研修を実施する予定としています。

新規採用職員のみなさんがこれまで各所属で先輩や上司の指導を受けながら仕事をする中で、うまくいくこともあれば、課題も見つかるなど、既にいろいろな経験をしていることと思います。

新規採用職員研修では、みなさんの仕事や公務員としてあるべき姿などについて、改めて考えてもらう時間を設ける予定としています。所属での仕事を通じて「4月の自分」からみなさんは確実に成長しているはずです。研修まで、まだ時間はありますが、下記の「仕事に対する心構え」も参考にしながら、日々の業務に取り組んでください。

後期研修で学ぶ主な内容（予定）

後期研修では以下のような内容を予定しています。

- | | |
|-----------|-----------------------|
| ○秋田県の重要課題 | ○仕事の進め方 |
| ○メンタルヘルス | ○私の仕事 |
| ○公務員倫理 | ○地方自治について |
| ○法令の基礎知識 | ○秋田の未来（あした）を考える
など |



※日程表の確定版については、後日、各所属へ送付する正式な研修実施通知により、お知らせします。

仕事に対する心構え

- 日々の行動の積み重ねが、その人をつくり上げていきます。明るく挨拶する、誠実に仕事に取り組む、人の話を素直に聞く。そういう行動が習慣になれば、それがみなさんの成長につながり、周囲からも信頼を得ることができます。
- とにかく、今は、与えられた仕事を確実にやりきることを心がけてください。その過程で、みなさんの能力は向上し、自信を持つことができます。できた仕事の大きさを問わず、できたと認識し、自信を積み上げていくことが大切です。
- 仕事のできる人とできない人の差は、迷いの時間の大小にあるとも言われます。仕事の進め方で迷ったら、決して一人で抱え込まず、すぐに上司・先輩に相談してください。

eラーニング ピックアップ

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、集合研修での実施を予定していた能力開発研修が、eラーニングに変更となりました。そこで、eラーニングの能力開発研修対象40コースの中から、いくつかのコースをピックアップしてご紹介します。

(県) 25歳、28歳、新任主任級の受講者の選択必修対象
(市町村・団体) 一般職員の選択必修対象
レジリエンスの鍛え方基本コース



- ★レジリエンス（逆境からしなやかに立ち直る「回復力」のこと）を高めることで、ストレスに負けない柔軟な心をつくることをめざすコースです。
- ★レジリエンスが鍛えられるスキルであることを理解します。レジリエンスを高めるために求められる、感情のセルフコントロール法を理解します。レジリエンスを理解し、自分の強みを知り活かすことで、次につなげることをめざします。



(県) 主査級3年目、新任副主幹級の選択必修対象
(市町村・団体) 役付職員の選択必修対象
ファシリテーション基本コース

- ★チームメンバーの主体性を引き出し、相互の信頼関係と議論を促進するためのスキルを身につけるコースです。
- ★会議やミーティング、チーム内協働の場において「何が問題か」を理解します。日常的に実践できるファシリテーションの基本スキルについて理解します。ファシリテーションスキルの活用が、会議を通じたチームパワーの発揮につながるよう働きかけます。

その他、令和元年度、受講者アンケートで満足度の高かったコース

事例で学ぶ
すぐに使える声かけ編

職場ハラスメント
対応コース

事例で学ぶ
上手な聴き方編

事務ミスゼロのための仕事の
小ワザ20のスキル

定時に帰る！
15の仕事術

自分のためのメンタル
ヘルスケア基本コース



貸出図書の紹介

研修所図書室で所蔵している図書の中から、令和元年度（4～3月）貸出し実績の多かった本を紹介します。



◆1分で話せ

【分類番号】 336-0896-1

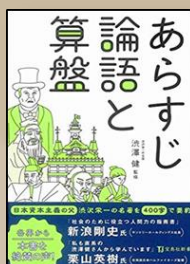
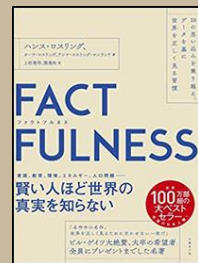
「0秒で動け」の著者が、孫社長にも一目置かれた伝説の「伝え方」を伝授します！

ビジネス書大賞2018ノミネート作品！！

◆FACTFULNESS

【分類番号】 304-0073-1

ファクトフルネスとはネタや事実にもとづき、世界を読み解く習慣。賢い人ほどとらわれる10の思い込みから解放されれば、癒され、世界を正しく見るスキルが身につく。



◆あらすじ論語と算盤

【分類番号】 335-0146-1

多くの経営者やスポーツ選手が愛読している渋沢栄一『論語と算盤』を、400字にダイジェストしたあらすじとイラストで読む一冊。「商売こそ道徳が必要」「よい争いと悪い争い」など、テーマを絞って要約し、解説します。

◆未来の地図帳 人口減少日本で各地に起きること

【分類番号】 318-0856-1

47都道府県はもはや維持できない。20年後の日本人はどこに暮らすのか？

累計76万部超の『未来の年表』シリーズ著者最新作！



図書の貸出案内

自治研修所には現在1800冊を超える図書があります。

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、研修等で来所した際の図書室の利用は中止していますが、県職員を対象に、本の貸出しを行っています。本は職場へお届けします。

派遣研修レポート

自治大学校派遣職員 受講レポート（基本法制A+第1部課程）

障害福祉課 主任 進藤龍平
(H31年度 自治研修所 主任)

○はじめに

自治大学校派遣について、所感をまとめます。結論からお話すると、是非希望することをお勧めしますので、少しでも興味のある方は参考にしてください。

○自治大学校の紹介

自治大学校は、地方公務員に対する研修を行う日本唯一の中央研修機関です。総務省の機関のひとつであり、全国の地方自治体から受講生が集まります。場所は東京都の西部、立川市。親類がいる方や、関東の大学を卒業した方以外はなかなか馴染みのない土地かと思いますが、立川駅は中央線や南部線、青梅線など複数の路線が乗り入れ、1日平均で約17万人の人が乗車する駅です。自治大学校は立川駅からモノレールに乗車し1駅ですが、もう1駅進むと大型ショッピングモールがあります。

○カリキュラムの紹介

現在、秋田県からは、約1ヶ月間の「基本法制A」研修（R01. 10. 09～11. 8）及び、約2ヶ月半の「第1部課程」研修（R01. 11. 12～R02. 01. 29）に参加することができます。約3ヶ月半の研修生としての派遣以外に、特別研修生として1年間の派遣になる場合もありますが、それについては前号（自治研修あきたNo. 78）をご覧ください。

自治大学校のカリキュラムは、平成30年度から大きく改変され、それまで約5

ヶ月間だった研修期間が約4ヶ月弱に短縮されました。皆さんの周りにも、過去に自治大学校に派遣された諸先輩がいらっしゃるかもしれませんが、講義について言えば、残念ながら平成29年度以前の方のお話は参考に出来ません。過去の講義体制を詳しくは知りませんが、期間を短くしつつも、講義はあまり減らさずに詰め込んだ、という印象を受けました。もちろん個人の資質にも依りますが、私にとっては結構厳しいカリキュラムでした。

○講義の概要（基本法制A+第1部課程）

「基本法制A」研修では、憲法や地方自治法など、各種法制課目の研修が行われ、最後には効果測定、若しくはレポート提出があります。法学部出身でもなく、学生時代からあまり積極的に勉強していない私はほとんど知りませんでした。講師は、それぞれその分野の第一人者の方々でした。「第1部課程」研修では、政策形成能力の養成に向け、財政を始め、福祉、観光、ICT、農業など幅広い分野の講義が行われるほか、データ分析や、条例・政策を立案する演習が行われます。こちらも講師の多くがその分野の第一人者です。

受講当時は、ただ毎回の講義を受講し、理解するだけで時間が過ぎてしまいましたが、今思い返すと、非常に貴重な機会をいただいたのだと実感しています。

○寮生活

自治大学校には寮が隣接しており、全国の受講生と共同生活を送ることになります。この共同生活の中で得られる全国の地方自治体職員とのつながりが、自治大学校派遣の一番の成果だと思っています。短くなったとは言え、約3ヶ月半、朝から晩まで生活を共にします。このつながりは大きな糧として、公私ともに今後の私を支えてくれるはずです。

○お勧め

中長期の関東単身赴任になりますが、事情が許すのであれば是非希望すること

をお勧めします。引っ越し、知らない場所で知らない人との共同生活、自治大学校の運営体制など、思い返すと諸々大変なことはありましたが、それを差し引いても余りある成果が得られるはずです。カリキュラムが厳しいと前述していますが、全くついていけないということはなく、何とかできます。各分野の第一人者から講義を受ける機会、また全国に仲間をつくる機会として、是非前向きに検討してください。

自治大学校第1部・第2部特別課程第38期研修を終えて

自治研修所 副主幹 佐藤はるか

遡ること平成30年の12月、人事異動希望調書の提出を前に、私は夫にある相談を持ちかけました。

私：「東京の立川にある『自治大学校』っていうところに3週間くらい宿泊する研修があるんだけど、行ってもいい？」

夫：「3週間？それくらいなら大丈夫だよ。俺、ちゃんと子どもたちの面倒見るよ。」

私：「ありがとう！」

新婚当初、我が夫は千葉市にある『市町村アカデミー』という研修施設で10日間ほどの法制研修を受けに行っているので、意外とすんなりとイメージしてもらえたようです。

こうして家族の了解を得た上で、私はその年の人事異動希望調書に「自治大学校第1部・第2部特別課程派遣希望」と書いて提出しました。研修の中身は、あ

まりよく分かっていなかったのですが・・・。

実際に研修に来てみて、1月30日のオリエンテーションで渡された資料には、この研修の目的は以下のように記載されていました。

「地方公共団体女性幹部職員養成支援プログラム」として、長期間の宿泊研修に参加することが難しい将来の地方公共団体を担う女性幹部候補生に対し、基本法制研修Bの受講またはeラーニングを前提に、比較的短期間で都道府県及び市町村の中堅幹部、将来の中核幹部として必要な政策形成能力及び行政経営能力を修得し、かつ、公務員としての使命感及び管理者意識を涵養することを目的とした高度な研修を行う。

たいそう難しげな説明ですが、3週間あまりの研修は、実に充実して楽しいも

のでした。

全国から集まった101名の女性公務員の内訳は、北は北海道から南は鹿児島県まで、都道府県が21名、市が76名、町が3名、その他（団体）1名となっており、年齢は31歳から54歳まで（平均年齢42歳）、既婚者も未婚者も取り混ぜ、役職は主査級から課長級まで、バラエティに富んだ人材の宝庫でした。

研修内容は座学、事例・ディベート演習、レポート作成の3要素で構成されており、3週間という限られた時間内に学ぶにはとてつもなく濃密な内容です。

中でも、小グループに分かれて実施した「テキスト型事例演習」は、『高齢者向け住宅に係る法制度』『空き家対策』『メンタルヘルス不調職員に係る法制度』という、地方公共団体の現場が直面している実例に対し、それぞれ問題発見・解決を行い、政策提言を行うという実践的な内容でした。私たちのグループは、住んでいる地域も所属する部署も全く違う4人でしたが、事前に調べてきたそれぞれの自治体の現状や、これまでの仕事で得た知識や経験を持ち寄って討議を重ね、他の3グループとともに1つの班としての政策提言をまとめ上げました。その過程においては、行政課題における問題発見・解決能力が培われるだけでなく、チームで1つのゴールを目指す一体感を味わえます。まさしく、自治大の校歌のワンフレーズ通り「切磋琢磨の朝な夕」を地で行く演習でした。

2月21日に卒業式を終え、第38期生は再び所属自治体に戻りましたが、その後もSNSで連絡を取り合い、情報交換を続けています。1つの自治体では解決できない

問題も、彼女たちと議論を重ねることで、何らかのゴールに到達できるのではないかと希望が持てます。このような自己研鑽の機会と、全国に心強い仲間を得る機会をいただき、心から感謝しております。女性職員の皆さん、是非、職場や家族にご相談の上、まずは派遣希望を出してみてください。きっと新たな世界が広がるはずです。

盟友・8Fフロアの皆さんと



佐藤副主幹 前から3列目の左から2番目



手前一番左